DENON®

プレミアムホームシアターコンポーネントカタログ
No.9

AVサラウンドアンプ
AVC-X8500H
AVC-X6500H

AVサラウンドレシーバー
AVR-X4500H

IMMERSE YOURSELF IN REAL 3D SOUND

DENON
High Current
POWER TRANSFORMER
HEOS
DENON

World-Class Engineering with Dolby Atmos, DTS:X and Auro-3D

Dolby Atmos®、DTS:X™、そして Auro-3D® — イマーシブオーディオが描き出す三次元音響空間のかつてない臨場感を最大化するデノンの高音質再生技術

デノンAVサラウンド技術の中核「D.D.S.C.」

D·D·S·C DIGITAL HD32

デノンAVサラウンドアンプの設計思想であるコンテンツ制作者の意図をありのままに再現すること”を具現化するために開発された D.D.S.C.（Dynamic Discrete Surround Circuit）。フラッグシップモデルである AVC-X8500Hと同様に、AVC-X6500H、AVR-X4500H は、32 ビットプロセッシングを行う最上位バージョン「D.D.S.C.-HD32」を搭載しています。サラウンド再生のために必要な信号処理回路を一つ一つのブロックに独立させ、32bit フローティングポイント DSP や高精度なボリューム IC など高性能な専用デバイスを用いてディスクリート化。また全チャンネル同一レスポンス、同一クオリティを念頭に構成。さらに、ピュアオーディオで培ったノウハウを基にパフォーマンスを最大限に引き出すよう、オーディオ回路をはじめ各回路に厳密なチューニングを施し、ロスレスオーディオやイマーシブオーディオの圧倒的高音質をダビングステージに迫るクオリティで再現します。

理想的なアナログ波形再現技術「ALPHA Processing」

AL32 PROCESSING MULTI CHANNEL

「ALPHA Processing」は、CD の 16bit PCM デジタル音声信号を 20bit 精度に拡張し、本来のアナログ波形により近づける 2ch ピュアオーディオのためのビット拡張技術として開発されました。世代を重ね、アルゴリズムの改良によってさらなる高音質化を果たすとともに、対応する音源の幅を広げ、現在では、ハイレゾリューション音源やマルチチャンネル音源にも対応。AVC-X8500H、AVC-X6500H、AVR-X4500H には 32bit 精度に拡張する「AL32 Processing Multi Channel」を搭載。ハイビット化によって、ホールに吸込まれるような残響音などの繊細なディテールまでも正確に再現するとともに、圧倒的な低域の解像度を実現しています。

日本国内初 Auro-3D® に対応

AURO 3D® AUDIO

デノンは、2017 年に日本国内で初めて Auro-3D デコーダーを搭載した AV レシーバー 2 機種を発売。2018 年にはフラッグシップモデル AVC-X8500H が加わり 3 機種が Auro-3D に対応しています。Auro-3D では、5.1 チャンネルスピーカーにフロントハイト（FHL ＋ FHR）、サラウンドハイト（SHL ＋ SHR）を加えた 9.1ch システム、およびオプションのトップサラウンド（TS）スピーカーを組み合わせた 10.1ch システムで、かつてない自然さと臨場感の 3D サウンドを楽しむことができます。さらに AVC-X8500H は、10.1ch システムにセンターハイト（CH）およびサラウンドバック（SBL+SBR）を加えた 13.1ch システムを構築することができます。従来の 5.1ch や 7.1ch のサラウンドコンテンツやステレオ、モノラルコンテンツは、Auro-Matic® アルゴリズムによって自然な 3D サウンドにアップミックスすることができます。

※ AVR-X4500H で Auro-3D 10.1ch システムを構築するにはパワーアンプの追加が必要です。

CONTENT.

02 INTRODUCTION
04 AVC-X8500H
08 AVC-X6500H
12 AVR-X4500H

AVC-X8500H

13.2 ch AV サラウンドアンプ

希望小売価格 480,000 円（税抜価格）
JAN コード：49-51035-06241-8

13ch モノリス・コンストラクション・パワーアンプ		最大出力 260W	Auro-3D 対応予定	Dolby Atmos / DTS:X 対応	13.2 ch プロセッシング
HDMI 8 入力 /3 出力	4K / 60p（HDCP 2.2）対応	Dolby Vision / HLG 対応	Wi-Fi/Bluetooth 内蔵	DSD & ハイレゾ対応	AirPlay 2 対応

Sound —— 13chアンプが創造する圧倒的イマーシブサウンド

Dolby Atmos® / DTS:X™ に対応

AVC-X8500Hは、新世代のオブジェクトオーディオ技術「Dolby Atmos」、「DTS:X」に対応。頭上も含む全方位に展開する自然な音響空間に包み込まれることにより、リスナーはあたかも映画の世界に入り込んだような感覚を得ることができます。また、ハイトスピーカー信号を含まない従来のチャンネルベースのコンテンツも「Dolby Surround」や「Neural:X」で 3D サウンドにアップミックスすることができます。AVC-X8500H は 13chのパワーアンプを搭載しているため、パワーアンプの追加なしに Dolby Atmos では [7.1.6]、[9.1.4]、DTS:X では [7.1.4]、[9.1.2] のサラウンドシステムを構築できます。

Auro-3D® にアップデート対応

AVC-X8500Hは、Auro-3D に無償のファームウェア・アップデートにより対応します。5.1ch+サラウンドバックの7.1chシステムにフロントハイト、センターハイト、サラウンドハイト、およびトップサラウンドスピーカーを組み合わせた13.1ch システムで、自然で臨場感豊かな 3D サウンドを楽しむことができます。また、Auro-Matic® アルゴリズムによって、モノラル、ステレオおよびサラウンドコンテンツを自然な3D サウンドにアップミックスすることもできます。

DHCT 搭載 13ch モノリス・コンストラクション・パワーアンプ

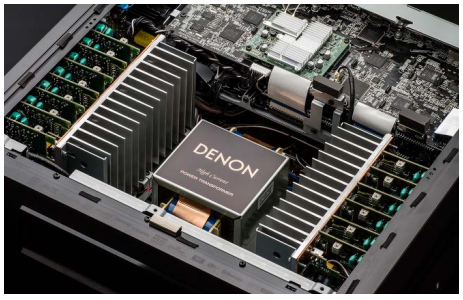
フラッグシップモデルに相応しいクオリティと最大 260W※の大出力を備えながら、一筐体に13chのパワーアンプを搭載するという相反する課題を克服するために、パワーアンプ回路をチャンネル毎に個別の基板に独立させたモノリス・コンストラクション構成を採用。チャンネル間のクロストーク、振動による音質への影響を排除することにより、チャンネルセパレーションを極限まで高め、純度の高いリアルな音場再生を実現しています。増幅素子には Hi-Fi アンプの設計思想を踏襲した大電流タイプのパワートランジスタ「Denon High Current Transistor（DHCT）」を採用。この DHCT をヒートシンク上に格子状にレイアウト、さらにヒーシンク全体をカバーする 2mm 厚の銅板を追加することで放熱効率を高め、発熱が大きくなる大音量再生時であっても安定性の高いスピーカー駆動を実現しました。ヒートシンクには共振の少ないアルミ押し出し材を使用。さらに、大容量ブロックコンデンサー、大電流タイプのショットキーバリアダイオードなど、厳選したオーディオグレードの高音質パーツをふんだんに採用。コンテンツに込められた制作者の想いを、より鮮やかに具現化することが可能となりました。

※ 6 Ω、1kHz、THD 10%、1ch 駆動

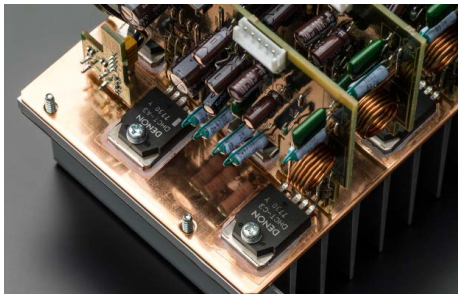
柔軟なアンプアサイン

AVC-X8500H は、15ch 分のスピーカー出力端子を装備しており、フロントワイドやサラウンドバックを含む最大 9ch のフロアスピーカーと、センターハイトやトップサラウンドを含む最大 8ch※のハイトスピーカーに割り当てることができます。プリセットされた 9 通りのアサインモードに加え、それぞれの端子に出力するチャンネルを自由に割り当てられる「カスタム」モードも搭載しています。最大 13ch の同時出力に対応しており、再生するフォーマットやサウンドモードに合わせて再生するスピーカーを自動で切り替えることができます。また、フロントスピーカーの駆動に 4 つのアンプを使って高音質化する「バイアンプ」に加え、センター、サラウンドも含む 5 チャンネルのスピーカーをバイアンプ駆動する「5ch Full Bi-Amp 機能」を搭載しています。さらに、2 組の異なるフロントスピーカーを切り替えて使用できる「A+B」などシステム構成に応じた柔軟なアンプアサインが可能です。また、メインゾーンで使用していないパワーアンプをゾーン 2、ゾーン 3 のスピーカーに割り当てることでもできます。

※ 最大 6ch の同時再生に対応



モノリス・コンストラクション・パワーアンプ


Denon High Current Transistor（DHCT）

アンプアサイン設定画面

D.D.S.C.-HD32

デノン AV サラウンドアンプの設計思想である “コンテンツ製作者の意図をありのままに再現すること” を具現化するために開発された「D.D.S.C.」。AVC-X8500H には、32bit プロセッシングを行う最上位バージョン「D.D.S.C.-HD32」を搭載。心臓部となるDSPに最新の 32bit デュアルコア DSPを 2 基搭載し、処理能力を12.5% 向上させました。

13.2ch プロセッシング /15.2ch プリアウト

最新 DSP の優れた処理能力により、最大 13.2ch におよぶマルチチャンネル信号のデコードやアップミックス、AL32 Processing Multi Channel、音場補正などの負荷の高い処理も音質にいささかの影響も与えることなく行うことができます。また、15.2ch プリアウトを装備しており、好みのパワーアンプと組み合わせるなど、システムを拡張することもできます。

AL32 Processing Multi Channel

AL32 Processing Multi Channel は、最大 13.2ch のマルチチャンネル信号を 32bit まで拡張。ハイビット化によって、ホールに吸込まれるような残響音などの繊細なディテールまでも正確に再現するとともに、圧倒的な低域の解像度を実現しています。

プレミアムステレオ DAC を 8 基搭載

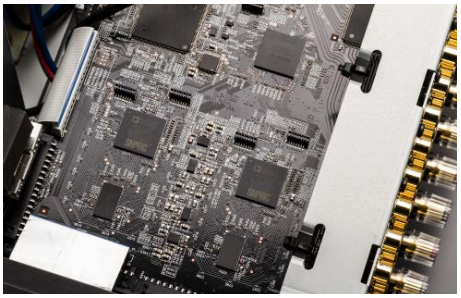
豊かな情報量と力強いサウンドのために、リスニングテストを繰り返して厳選した最新世代の 32bit 対応プレミアムステレオ D/A コンバーターを 8 基搭載。D/A 変換回路を映像回路やネットワーク回路から独立した、専用基板にマウントすることにより周辺回路との相互干渉を排除しています。また、専用基板を用いることによって D/A 変換回路、信号ラインおよび電源ラインのレイアウトの最適化を行い、音質対策パーツの選定、ポストフィルターの設計等と合わせ、高性能な D/A コンバーターの性能を最大限に引き出しています。

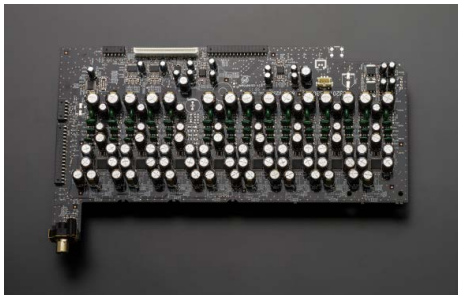
Hi-Fi グレードのプリアンプ、ボリューム回路

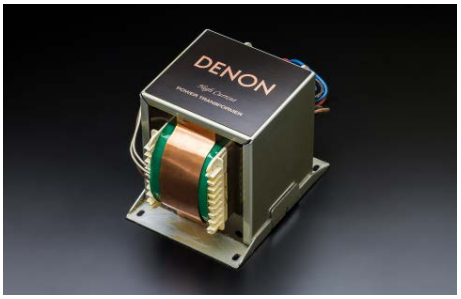
信号経路を最短化し、音質を最優先した回路のレイアウトを実現するために、サプライヤーと共同開発した入力セレクター、ボリューム、出力セレクターそれぞれの機能に特化した高性能カスタムデバイスを採用しています。専用のデバイスを用いることにより、プリアンプ回路のレイアウトの自由度が飛躍的に高まり、シンプルかつストレートな信号経路を実現することが可能になりました。

大出力を支える強力な電源回路

13ch の同時出力時にもクリーンかつ安定した電源供給を行うために、AVC-X8500H 専用の EI コアトランスを開発。その質量はトランス単体で 8kg を超えるほどのものとなりました。1.2mm 厚のトランスプレートを介してメインシャーシに固定。さらに 1.2mm 厚のボトムプレートを加えた合計3.6mmの堅牢なシャーシによってその重量を支え、振動を抑制しています。電源部のブロックコンデンサーには、22,000 μF の大容量カスタムコンデンサーを 2 個使用。大出力時でもハイスピードかつ安定した電力供給を行うことにより、重心の低さと鮮烈さを兼ね備えたサウンドを実現しました。また、デジタル電源回路のスイッチング周波数を従来の約3倍とすることでスイッチングノイズを可聴帯域外へシフトさせ、再生音への影響を排除。デジタル回路用のスイッチングトランスにはシールドプレートを追加。さらに、電源回路全体をシールドプレートで覆うことにより、周辺回路への干渉を抑えています。


32bit デュアルコア DSP


D/A コンバーター基板画像



カスタム EI コアトランス

ダイレクト・メカニカル・グラウンド・コンストラクション

ヒートシンクや電源トランスなどの重量物をフットの直近に配し、スチールプレートを介して高剛性のシャーシに強固に固定。音質に悪影響を及ぼす内部、外部の不要振動を排除し、音質の向上を図りました。フットには共振を防止するリブを設けた高密度フットを採用しています。

3 ピーストップカバー

AVC-X8500H専用設計の3ピーストップカバーを採用。サイドパネルには 2mm 厚（最厚部 4mm）の高剛性なアルミパネルを、トップパネルには 1mm 厚のスチールパネルを用いています。パネルの厚みや形状、補強、ベンチレーションホールの配置を最適化することにより、筐体の剛性、放熱性を高次元でバランスさせています。

8mm 厚アルミトラップドア

フロントパネルのトラップドアには 8mm厚のアルミ無垢材を使用しています。精密に加工、取り付けられたトラップドアは、その滑らかな動作、重厚感溢れる手触りによってフラッグシップモデルならではのプレミアムな操作感を演出するだけではなく、その質量と高い剛性によって音質に悪影響を与える筐体の共振を抑制しています。

Audyssey MultEQ XT32、Sub EQ HT

設置環境によって異なる部屋の音響的な問題を補正して最適化する音場補正技術「Audyssey MultEQ XT32」を搭載。各スピーカーの設置後に付属のマイクを使ってスピーカーの有無やサイズ、距離、音量などの基本的な調整値を自動的に設定します。さらに、最大 8 か所の測定データを解析することによって、512 倍（Audyssey 2EQ 比）のフィルター解像度で、部屋の反響音などによる悪影響の要因を取り除き、多人数で映画を見る場合でも視聴する全員が理想的なサラウンドサウンドを体感できるように最適なチューニングを行います。
さらに、Sub EQ HT も搭載しており、2 台のサブウーハーを接続した際には個別に特性を測定し、それぞれに最適な音量、距離の補正およびイコライジングを行うことができます。

DTS Virtual:X に対応

DTS Virtual:X は、ハイトスピーカーやリアスピーカーを設置していないステレオ、5.1ch、7.1ch などの環境においても高さ方向も含むあらゆる方向からのサウンドに包み込まれるイマーシブオーディオ体験を可能にする新しいバーチャル3Dサラウンドテクノロジーです。DTS Virtual:X は、DTS:Xのような 3D サラウンドフォーマットはもちろん、ステレオや 5.1ch 信号に対しても適用することができるため、既存のコンテンツをイマーシブオーディオ化することが可能です。

低音の位相補正機能

ブルーレイディスクなどマルチチャンネルで収録されているコンテンツでは、低音（LFE）が遅れて収録されている場合があります。本機能を使用すると、コンテンツによって異なる LFE の遅れを 0 ms ～ 16 ms の範囲で補正することができます。

Picture —— 4K Ultra HD / HDCP 2.2 / HDR に対応

8 入力 /3 出力すべての HDMI 端子が HDCP 2.2 に対応

8 入力 / 3 出力すべての HDMI 端子が 4K 映像コンテンツに対する著作権保護技術「HDCP 2.2」に対応しています。衛星放送やインターネットを通して配信される 4K Ultra HD コンテンツの超高精細映像をハイクオリティなサウンドとともに楽しむことができます。また、2 つのモニターHDMI出力で TV とプロジェクターなど、2つの画面に同時に同じ映像を出力することができます。マルチゾーンHDMI出力では、別室に映像を配信することができます。Monitor 1 の HDMI 出力端子は ARC（Audio Return Channel）に対応。さらに、ファームウェア・アップデートによる eARC（Enhanced ARC）への対応も予定しています。eARC ではこれまでサポートされていなかったテレビからAV レシーバーへの Dolby TrueHD / Dolby Atmos、DTS-HD Master Audio / DTS:X の伝送が可能になります。

4K Ultra HD ビデオ・パススルー対応

すべてのHDMI 入出力端子が最大毎秒 60 フレームの 4K 映像信号に対応。4K / 60p入力に対応したテレビと接続することで、4K 映像ならではの高精細でスムーズな映像を楽しめます。また、[4K / 60p / 4:4:4 / 24bit] や [4K / 60p / 4:2:0 / 30bit]、[4K / 60p / 4:2:2 / 36bit] などの映像フォーマットに対応し、色情報の密度と階調性のなめらかさを両立した映像表現を可能にしました。さらに、従来の HD 映像の 2 倍以上の広色域表現を可能にする「BT.2020」のパススルーにも対応しています。

HDR10 / Dolby Vision / HLG 対応

AVC-X8500Hは、映像のダイナミックレンジを拡張する新技術「HDR（High Dynamic Range）」映像信号のパススルーに対応しています。「UltraHD Blu-ray」に採用されている HDR10 に加え、Dolby Vision、HLG（Hybrid Log-gamma）にも対応するため、パッケージメディア、ストリーミング放送など様々なソースで HDR 映像を楽しむことができます。

4K ビデオ パススルー対応フォーマット

	24 bit	30 bit	36 bit
4K / 24p 4K / 25p 4K / 30p	RGB YCbCr 4:4:4	RGB YCbCr 4:4:4	RGB YCbCr 4:4:4 4:2:2
4K / 50p 4K / 60p	RGB YCbCr 4:4:4 4:2:0	YCbCr 4:2:0	YCbCr 4:2:2 4:2:0

※フロントパネルの HDMI 端子は、YCbCr 4:2:0 のみに対応しています。

4K アップスケーリング & ビデオコンバージョン

SD / HD 解像度の映像信号（HDMI / コンポーネント / コンポジット入力）を、最大 4K（3,840 × 2,160 ピクセル）/ 60p までアップスケーリングして出力することができます。

HDMI スタンバイパススルー

本機がスタンバイ状態のときでも、HDMI 入力信号をテレビに出力することができます。また本機がスタンバイ状態のときでもリモコンの入力ソース選択ボタンで本機の入力ソースを切り替えることができます。

Network —— HEOSテクノロジー搭載

ネットワークオーディオ機能には、ワイヤレス・オーディオシステム「HEOS」のテクノロジーを搭載。セットアップ、操作は無料のHEOS アプリで誰でも簡単に。Amazon Music や、AWA、Spotify などの音楽ストリーミングサービスやインターネットラジオをはじめ、ローカルネットワーク上のミュージックサーバー（NAS / PC / Mac など）や USBメモリーに保存したハイレゾ音源やスマートフォン、タブレット、Bluetooth® 機器など、多彩な音源を再生することができます。さらに同一のネットワークに接続した他のHEOSデバイス（HEOS1、HEOS 3 など）に AVC-X8500H で再生中の音楽を配信することもできます。

HEOSの詳細についてはウェブサイトをご覧ください。
https://www.denon.jp/jp/heos

主な機能

- 音楽ストリーミングサービス（Amazon Music、AWA、Spotify）※
- インターネットラジオ
- DSD ／ハイレゾ 対応ネットワークオーディオ機能
- DSD ／ハイレゾ 対応フロント USB 端子（USB メモリー）
- AirPlay
- Bluetooth

※ 各サービスの有料プランのアカウントが必要です。

Usability —— 多彩な機能を使いやすく

Denon 2016 AVR Remote

iPod touch / iPhone / iPad、Android スマートフォン、タブレット用リモコンアプリ「Denon 2016 AVR Remote」に対応。同一ネットワーク内のモバイルデバイスから AVC-X8500H の操作や設定を行うことができます。

2.4 / 5 GHz デュアルバンド Wi-Fi 対応

AVC-X8500H は Wi-Fi（無線 LAN）接続に対応しているため、設置場所に有線 LAN 環境がなくても、ネットワークオーディオやインターネットラジオの再生やアプリでの操作が行えます。従来の 2.4 GHz 帯に加えて 5GHz 帯にも対応し、より安定した通信が可能になりました。セットアップは、対応ルーターとボタン一つで接続できる「WPS」に加えて、iOS 機器からの Wi-Fi 設定コピーにも対応しているため簡単に行えます。

省エネ設計

電力の消費を抑えながら、映画や音楽を楽しむことができるエコモードを搭載。常に消費電力を低減する「オン」、電源がオンのときに音量に合わせて自動的に消費電力を低減する「オート」、消費電力を低減しない「オフ」の切り替えが可能です※。また、未使用時に自動的に電源を切るオートスタンバイ機能も搭載しています。

※ お買い上げ時の設定は「オート」

日本語対応 GUI

再生中の映像にオーバーレイ表示可能な日本語対応GUI を搭載。入力ソースや音量レベル、サウンドモードなどのステータスや、セットアップ画面を表示できます。表示言語は英語に切り替えることもできます。

※ 4K（50 / 60 Hz）や一部の 3D ビデオ、HDR、VGA などのコンピューター解像度の映像、16:9 や 4:3 以外のアスペクト比の映像の再生中にメニュー操作を行うとメニュー画面のみが表示されます。

クイックセレクトプラス機能

本体、およびリモコンのクイックセレクトボタンに入力ソース、音量レベル、サウンドモードの設定などを記憶することができます。次に再生するときは、登録してあるクイックセレクトボタンを押すだけで、記憶しているさまざまな設定を一度に切り替えることができます。クイックセレクトプラス機能は、ゾーンごとに記憶が可能です。

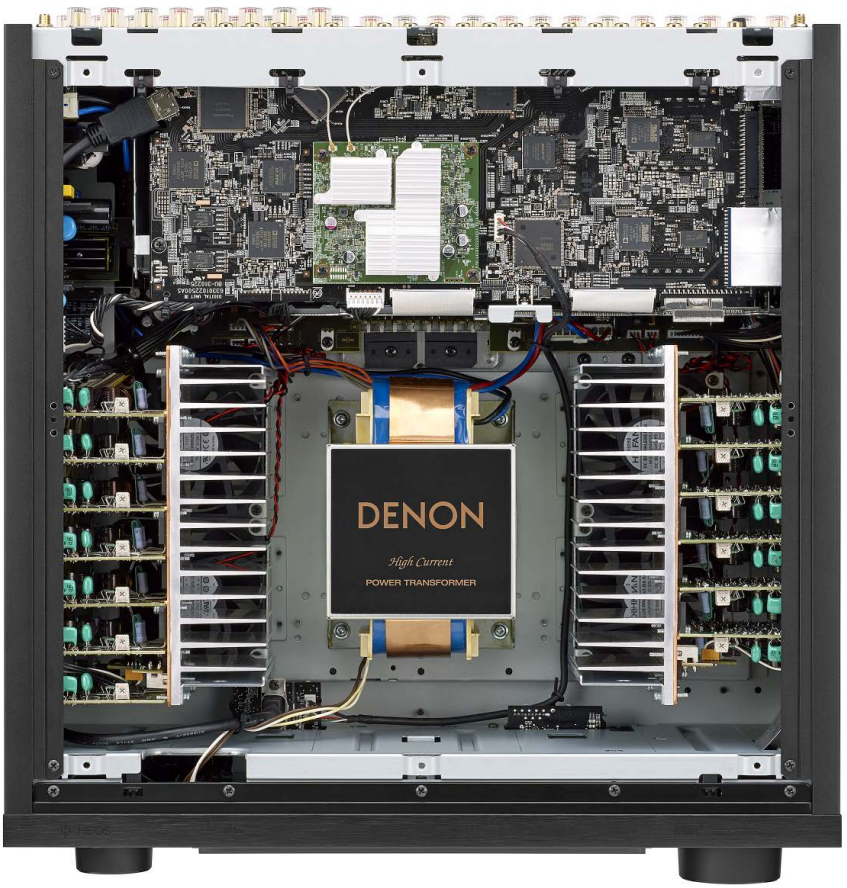
マルチルーム機能（3 ゾーン / 3 ソース）

AVC-X8500H は 2 系統のマルチゾーンプリアウトを搭載しています。メインゾーンで使用していないパワーアンプがある場合には、そのパワーアンプをゾーン 2 ／ゾーン 3 にアサインすることができます。また、HDMI、コンポーネント、コンポジット映像信号をゾーン 2 ／ゾーン 3 に出力することもできます。それぞれのゾーンで個別に入力の選択やボリュームの設定が可能です。また、All Zone Stereo 機能を使用すると、メインゾーンで再生中の音楽を同時にすべてのゾーンで楽しめます。家全体で BGM を流したいときなどに便利です。

その他の機能・特長

- 独自のジッター･フリー・オーディオ伝送技術「Denon Link HD」
- 高音質オペアンプ、デュアルトランジスタ採用
- 小さな音は明瞭に、急に出る大きな音は小さく抑え深夜の視聴などに便利な「Audyssey Dynamic Volume」
- 小さな音量でも臨場感を損なわない「Audyssey Dynamic EQ」
- 周囲の部屋への低音の伝搬を抑制する「Audyssey LFC」
- 圧縮音源を原音に近い状態に復元する「リストアラー」
- せりふやボーカルの聴こえやすさを調節する「ダイアログエンハンサー」
- Phono 入力装備
- 給電専用リア USB 端子装備（5V/1.5A）
- 金メッキ入出力端子
- 10～120 分の範囲で 10 分ごとに設定可能なスリープタイマー
- オートスタンバイ機能
- 液晶ディスプレイ、バックライト付き学習リモコン付属
- 初期設定をガイドする「セットアップアシスタント」
- 目的の項目が簡単に検索できる CD-ROM 取扱説明書

トラップドアを開いた状態



AVC-X6500H

11.2 ch AVサラウンドアンプ

希望小売価格 320,000 円（税抜価格）
JAN コード：49-51035-06589-1

11chモノリス・コンストラクション・パワーアンプ		最大出力250W	Auro-3D対応	Dolby Atmos / DTS:X対応	11.2 ch プロセッシング
HDMI 8入力/3出力	4K / 60p（HDCP 2.2）対応	Dolby Vision / HLG対応	Wi-Fi/Bluetooth内蔵	DSD & ハイレゾ対応	AirPlay 2 対応

Sound —— ハイエンドモデルの技術を継承

Dolby Atmos® / DTS:XTM に対応

AVC-X6500Hは、新世代のオブジェクトオーディオ技術「Dolby Atmos」、「DTS:X」に対応。頭上も含む全方位に展開する自然な音響空間に包み込まれることにより、リスナーはあたかも映画の世界に入り込んだような感覚を得ることができます。また、ハイトスピーカー信号を含まない従来のチャンネルベースのコンテンツも「Dolby Surround」や「Neural:X」で3Dサウンドにアップミックスすることができます。AVC-X6500Hは11chのパワーアンプを搭載しているため、パワーアンプの追加なしに[7.1.4]、[9.1.2]のサラウンドシステムを構築できます。

Auro-3D® に対応

AVC-X6500Hは、Auro-3Dに対応。5.1chシステムにフロントハイト、サラウンドハイト、およびトップサラウンドスピーカーを組み合わせた10.1chシステムで、自然で臨場感豊かな3Dサウンドを楽しむことができます。また、Auro-Matic®アルゴリズムによって、モノラル、ステレオおよびサラウンドコンテンツを自然な3Dサウンドにアップミックスすることもできます。

最大出力 250W※の 11ch モノリス・コンストラクション・パワーアンプ

パワーアンプ回路にはデノンこだわりのモノリス・コンストラクションを採用。全11ch同一クオリティのディスクリート・パワーアンプをそれぞれ独立した基板にマウントし、電源供給も独立させることにより、チャンネル間の干渉、クロストークを排除。チャンネルセパレーションを高め、純度の高いリアルな音場再生を実現しています。ヒートシンクには共振の少ないアルミ押し出し材を使用。パワートランジスタにはAVC-X8500Hと同様にHi-Fiアンプの設計思想を汲む大電流タイプのトランジスタ「DHCT（Denon High Current Transistor）」を採用。ダイナミックレンジの広いHDオーディオソースを再生する際には、出力デバイスの内部温度が急激に上昇し、オーディオ特性が不安定になりますが、DHCTは温度補償回路をトランジスタ内部に配置し瞬時に温度補償を行うことにより安定したバイアス特性を実現しているため、温度が急激に上昇してもオーディオ特性、特に歪み特性が大きく変動することがありません。さらに、ヒートシンク上に格子状にレイアウトすることで放熱性を高め、より安定性の高いスピーカー駆動を実現しています。

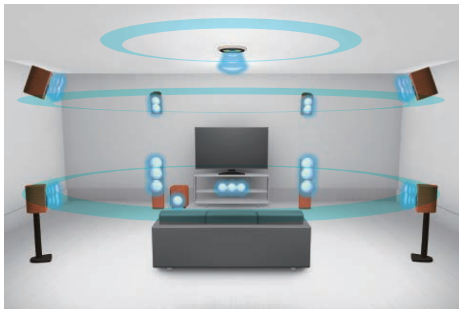
※ 6Ω、1kHz、THD 10%、1ch 駆動

11.2ch プロセッシング / 11.2ch プリアウト

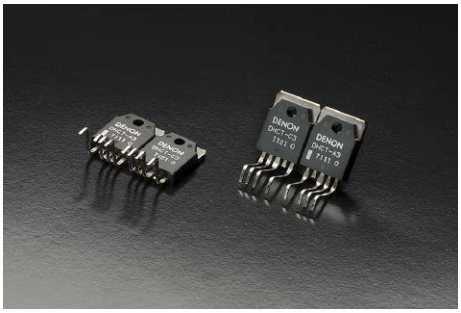
優れた処理能力を備えた32bitフローティングポイントDSP「SHARC プロセッサー」を4基搭載。11.2ch分のデコードやアップミックス、AL32 Processing Multi Channel、音場補正などの高負荷な処理であっても余裕を持った演算能力でストレスなく処理することにより空間再現のリアリティ、分解能の向上を実現しています。11.2chプリアウトも装備しており、パワーアンプの追加によって音質をさらにグレードアップすることもできます。

柔軟なアンプアサイン - 5ch バイアンプ機能を追加

AVC-X6500Hは、フロントスピーカーの駆動に4チャンネルのアンプを使って高音質化する「Bi-amp」に加え、センター、サラウンドも含む5チャンネルのスピーカーをバイアンプ駆動する「5ch Full Bi-Amp機能」にも対応しています。また、2系統のフロントスピーカーを切り替えて使用できる「A+B」などシステム構成に応じた柔軟なアンプアサインが可能です。また、ゾーン2、ゾーン3のスピーカーに割り当てることでもできます。


Auro3D 10.1 ch

モノリス・コンストラクション・パワーアンプ


DHCT

D·D·S·C HD32 / AL32 PROCESSING MULTI CHANNEL / Denon Link HD / Bluetooth / Wi Fi CERTIFIED / Hi-Res AUDIO / DSD Direct Stream Digital / Network / HDMI / 4K UHD HDR / HDCP 2.2

COMPATIBLE DOLBY VISION / HDR10 / HLG / 3D / DOLBY ATMOS / dts X / dts VIRTUAL X / AURO 3D AUDIO / AUDYSSEY MULTEQ XT32

Works with Apple AirPlay / HEOS by DENON / music / AWA / Spotify / SOUNDCLOUD / TUNE IN / eco mode

理想的なアナログ波形再現技術「AL32 Processing Multi Channel」

アルファ・プロセッサーは、CDの16bit 音声を20bit 精度で再現する2chピュアオーディオのためのビット拡張技術として開発されました。進化した独自のアルゴリズムによって補間ポイントの前後に存在する多数のデータからあるべき点を導き出し、限りなく原音に近い理想的な補間処理を行います。AVC-X6500Hには、32bit 精度に拡張、さらにマルチチャンネル音声にも対応した「AL32 Processing Multi Channel」を搭載しています。デジタル化された音声信号を、元のアナログ波形に近付け、ホールに吸込まれるような残響音などの微小な音の再生能力を高めます。

最新世代の32bit 対応D/Aコンバーター

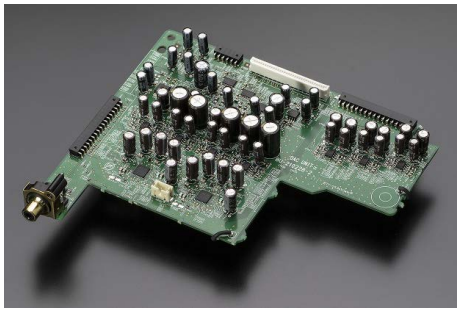
サウンドマネージャーによる入念なリスニングテストにより、選択された最新世代の高音質32bitD/A コンバーターをAVR-X6400Hから引き続き採用しています。これはAVC-X8500Hに搭載されているものと同シリーズのプレミアムDACです。従来のD/A コンバーターに比べ大幅に歪が少なく、解像感や繊細な空間表現力に優れています。D/A 変換回路は映像回路やネットワーク回路から独立した、専用基板にマウントすることにより相互干渉を排除しています。AVC-X6500Hでは、ポストフィルター回路を刷新。A級動作とし、薄膜高分子積層コンデンサーや薄膜抵抗など音質対策パーツを用いてD/A コンバーターの性能を最大限に引き出しています。

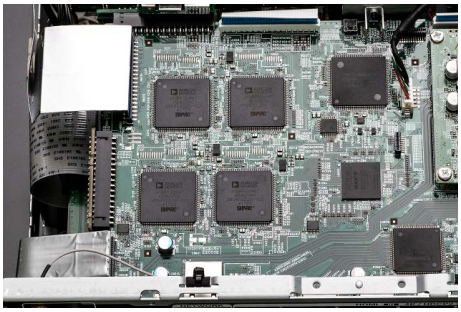
D.D.S.C.-HD32

デノンAVサラウンドアンプの設計思想であるコンテンツ制作者の意図をありのままに再現すること”を具現化するために開発されたD.D.S.C.(Dynamic Discrete Surround Circuit)。AVC-X6500Hは、32ビットプロセッシングを行う最上位バージョンを搭載しています。サラウンド再生のために必要な信号処理回路を一つ一つのブロックに独立させ、32bit フローティングポイントDSPや高精度なボリュームICなど高性能な専用デバイスを用いてディスクリート化しています。また全チャンネル同一レスポンス、同一クオリティを念頭に構成。さらに、ピュアオーディオで培ったノウハウを基にパフォーマンスを最大限に引き出すよう、オーディオ回路をはじめ各回路に厳密なチューニングを施し、ロスレスオーディオやイマーシブオーディオの圧倒的高音質をダビングステージに迫るクオリティで再現します。

大出力を支える強力な電源回路

クリーンで安定した電源供給のために、大電流の供給能力、低リーケージフラックス、低振動を突き詰めたカスタム仕様の大型EIコアトランスを搭載。整流回路のダイオードはPN接合タイプから高速なショットキーバリアダイオードにグレードアップ。パワーアンプ用のブロックコンデンサーには、AVC-X6500H専用にチューニングされた大容量15,000uFのカスタムコンデンサーを2個使用しています。ケースの直径をAVC-X8500Hと同じ50mmとし、低ESRを実現するオーディオ用ACエッチング方式の高倍率箔を採用。さらに内部に固定材を一切使用しないストレスフリー設計とすることで独自の音質チューニングを行っています。プリアンプ電源回路用のコンデンサーについてもELNA社製の高音質品にグレードアップしています。大出力時でも安定した電力供給を行うことにより、重心が低く、力強いサウンドを実現しました。また、デジタル電源回路のスイッチング周波数を通常の約3倍とすることでスイッチングノイズを可聴帯域外へシフトさせ、再生音への影響を排除しています。デジタル回路用のスイッチングトランスにはシールドプレートを追加。さらに、電源回路全体をシールドプレートで覆うことにより、周辺回路への干渉を抑えています。


D/A コンバーター専用基板


32bit フローティングポイントDSP

カスタムEIコアトランス

Audyssey MultEQ XT32、Sub EQ HT

設置環境によって異なる部屋の音響的な問題を補正して最適化する音場補正技術「Audyssey MultEQ XT32」を搭載。各スピーカーの設置後に付属のマイクを使ってスピーカーの有無やサイズ、距離、音量などの基本的な調整値を自動的に設定します。さらに、最大 8 か所の測定データを解析することによって、512 倍（Audyssey 2EQ 比）のフィルター解像度で、部屋の反響音などによる悪影響の要因を取り除き、多人数で映画を見る場合でも視聴する全員が理想的なサウンドを得られるように最適なチューニングを行います。さらに、Sub EQ HT も搭載しており、2 台のサブウーハーを接続した際には個別に測定し、それぞれに最適な音量、距離の補正およびイコライジングを行うことができます。より精度の高い測定、補正のために組み立て式のマイクスタンドを付属しています。

Audyssey MultEQ Editor アプリ

「Audyssey MultEQ Editor」アプリには、AV レシーバー単体では設定できない詳細な調整項目が用意されているため、部屋に起因する音響的な問題に対してさらに精密なカスタマイズが可能になり、個々のユーザーの好みも反映した理想的なサウンドを実現することができます。インストーラーやホームシアターのエキスパートがこのアプリを使うことによって Audyssey MultEQ の能力を最大限に引き出すことができます。

AVR AUDYSSEY

販売価格：2,400 円

GET IT ON Google Play

Download on the App Store

低音の位相補正機能

ブルーレイディスクなどマルチチャンネルで収録されているコンテンツでは、低音（LFE）が遅れて収録されている場合があります。本機能を使用すると、LFE の遅れを 0 ms ～ 16 ms の範囲で補正することができます。

ダイレクト・メカニカル・グラウンド・コンストラクション

音質に悪影響を及ぼす内部、外部の不要振動を排除し、音質を向上させるダイレクト・メカニカル・グラウンド・コンストラクション採用。ヒートシンクや電源トランスなどの重量物はスチールプレートを介してメインシャーシに強固に固定しています。また、フットには AVC-X8500H と同じ、共振を防止するリブを設けた高密度フットを採用しています。

パワーアンプの初段に高性能なデュアル・トランジスタを採用

AVC-X8500H と同様に、パワーアンプ初段の差動増幅段に特性のそろった 2 つのトランジスタを含む、デュアル・トランジスタを採用。微小信号の表現力を高め、低域の安定感を向上させています。

4 Ωスピーカーのドライブに対応

強力な電源と、安定度の高い回路構成を採用したパワーアンプは、4 Ωスピーカーであっても余裕を持ってドライブすることができます。

Picture —— 4K Ultra HD / HDCP 2.2 / HDR に対応

HDMI 8 入力 /3 出力装備。すべての端子が HDCP 2.2 に対応

8 入力 / 3 出力すべての HDMI 端子が 4K 映像コンテンツに対する著作権保護技術「HDCP 2.2」に対応しています。Ultra HD Bru-ray や衛星放送、インターネット配信などの 4K コンテンツの超高精細映像をハイクオリティなサウンドとともに楽しむことができます。また、2 つのモニター HDMI 出力で TV とプロジェクターなど、2 つの画面に同時に同じ映像を出力することができます。マルチゾーン HDMI 出力からは、別室に映像を配信することができます。

4K Ultra HD ビデオ・パススルー対応

すべての HDMI 入出力端子が最大毎秒 60 フレームの 4K 映像信号に対応。4K / 60p 入力に対応したテレビと接続することで、4K 映像ならではの高精細でスムーズな映像を楽しめます。また、[4K / 60p / 4:4:4 / 24bit] や [4K / 60p / 4:2:0 / 30bit]、[4K / 60p / 4:2:2 / 36bit] などの映像フォーマットに対応し、色情報の密度と階調性のなめらかさを両立した映像表現を可能にしました。さらに、従来の HD 映像の 2 倍以上の広色域表現を可能にする「BT.2020」のパススルーにも対応しています。

HDR10 / Dolby Vision / HLG 対応

AVC-X6500H は、映像のダイナミックレンジを拡張する新技術「HDR（High Dynamic Range）」映像信号のパススルーに対応しています。「UltraHD Blu-ray」に採用されている HDR10 に加え、Dolby Vision、HLG（Hybrid Log-gamma）にも対応するため、パッケージメディア、ストリーミング、放送など様々なソースで HDR 映像を楽しむことができます。

ARC / eARC に対応

Monitor 1 の HDMI 出力端子は ARC（Audio Return Channel）に対応しています。さらにファームウェア・アップデートにより HDMI 2.1 の新機能「eARC」にも対応します。eARC ではこれまでサポートされていなかったテレビから AV レシーバーへの非圧縮の 5.1ch、7.1ch 音声や Dolby Atmos、DTS:X などのオブジェクトオーディオの伝送が可能になります。

ALLM（自動低レイテンシーモード）に対応

AVC-X6500H は、HDMI 2.1 の新機能「ALLM（Auto Low Latency Mode）」に対応しています。ALLM はコンテンツの種類に応じて画質とレイテンシーのどちらを優先するかを自動で切り替える機能です。例えばゲームや VR コンテンツを再生する際には、レイテンシーが最小になるよう設定され、操作に対する画面表示の遅れを最小化します。その際 AV アンプは、画質調整や i/p スケーラー、オートリップシンクなど、レイテンシーに影響する機能を自動で停止します。

4K アップスケーリング

DVD ビデオやブルーレイディスクなどの SD / HD 解像度の映像信号（HDMI 入力）を、最大 4K（3,840 × 2,160 ピクセル）/ 60p までアップスケーリングして出力することができます。

※ コンポーネントビデオ信号は 480i/576i のみ HDMI 出力可能です。その他の解像度のアナログ映像入力信号は HDMI 信号には変換されません。

HDMI スタンバイパススルー

本機がスタンバイ状態のときでも、HDMI 入力信号をテレビに出力することができます。また本機がスタンバイ状態のときでもリモコンの入力ソース選択ボタンで本機の入力ソースを切り替えることができます。

Network —— HEOS テクノロジー搭載

HEOS by DENON

ネットワークオーディオ機能には、ワイヤレス・オーディオシステム「HEOS」のテクノロジーを搭載。設定や操作は無料の HEOS アプリで誰でも簡単に行えます。ストリーミングサービスやインターネットラジオをはじめ、ローカルネットワーク上の DLNA 対応ミュージックサーバー（NAS / PC / Mac など）や USB メモリーに保存された音源やスマートフォン、タブレット、Bluetooth® 機器など、多彩な音源を再生することができます。さらに同一のネットワーク内の他の HEOS デバイスに AVC-X6500H で再生中の音楽を配信することもできます。

HEOS の詳細についてはウェブサイトをご覧ください。
https://www.denon.jp/jp/heos

主な機能

- 音楽ストリーミングサービス（Amazon Music、AWA、Spotify）※
- インターネットラジオ
- DSD ／ハイレゾ 対応ネットワークオーディオ機能
- DSD ／ハイレゾ 対応フロント USB 端子（USB メモリー）
- AirPlay 2
- Bluetooth

※ 各サービスの有料プランのアカウントが必要です。

Spotify AWA music SOUNDCLOUD TUNE IN

Usability —— 多彩な機能を使いやすく

Denon 2016 AVR Remote

iPod touch / iPhone / iPad、Android スマートフォン、タブレット用リモコンアプリ「Denon 2016 AVR Remote」に対応。同一ネットワーク内のモバイルデバイスから AVC-X6500H の操作や設定を行うことができます。

2.4 / 5 GHz デュアルバンド Wi-Fi 対応

AVC-X6500H は Wi-Fi（無線 LAN）接続に対応しているため、設置場所に有線 LAN 環境がなくても、ネットワークオーディオやインターネットラジオの再生やアプリでの操作が行えます。従来の 2.4 GHz 帯に加えて 5 GHz 帯にも対応し、より安定した通信が可能になりました。セットアップは、対応ルーターとボタン一つで接続できる「WPS」に加えて、iOS 機器からの Wi-Fi 設定コピーにも対応しているため簡単に行えます。

省エネ設計

電力の消費を抑えながら、映画や音楽を楽しむことができるエコモードを搭載。常に消費電力を低減する「オン」、電源がオンのときに音量に合わせて自動的に消費電力を低減する「オート」、消費電力を低減しない「オフ」の切り替えが可能です※1。また、未使用時に自動的に電源を切るオートスタンバイ機能も搭載しています。

※1 お買い上げ時の設定は「オート」

トラップドアを開いた状態

セットアップアシスタント

スピーカーの接続や設定、ブルーレイディスクプレーヤーなどの入力機器との接続、そしてネットワークの設定など、AV レシーバーの初期設定をテキストとグラフィックでわかりやすくガイドする「セットアップアシスタント」機能を搭載。

日本語対応 GUI

入力ソースや音量レベル、サウンドモードなど AV アンプのステータスや、セットアップ画面を日本語でモニターに表示します。表示言語は英語に切り替えることもできます。

※ 4Kの映像、一部の 3D 映像、VGA などのコンピューター解像度の映像、16:9 や 4:3 以外のアスペクト比の映像の再生中にメニュー操作を行うとメニュー画面のみが表示されます。Dolby Vision 信号を再生中に本機を操作すると、表示されるメニュー画面や操作内容の色が通常と異なる場合があります。これは Dolby Vision 信号の特性により起こるもので、故障ではありません。

クイックセレクトプラス機能

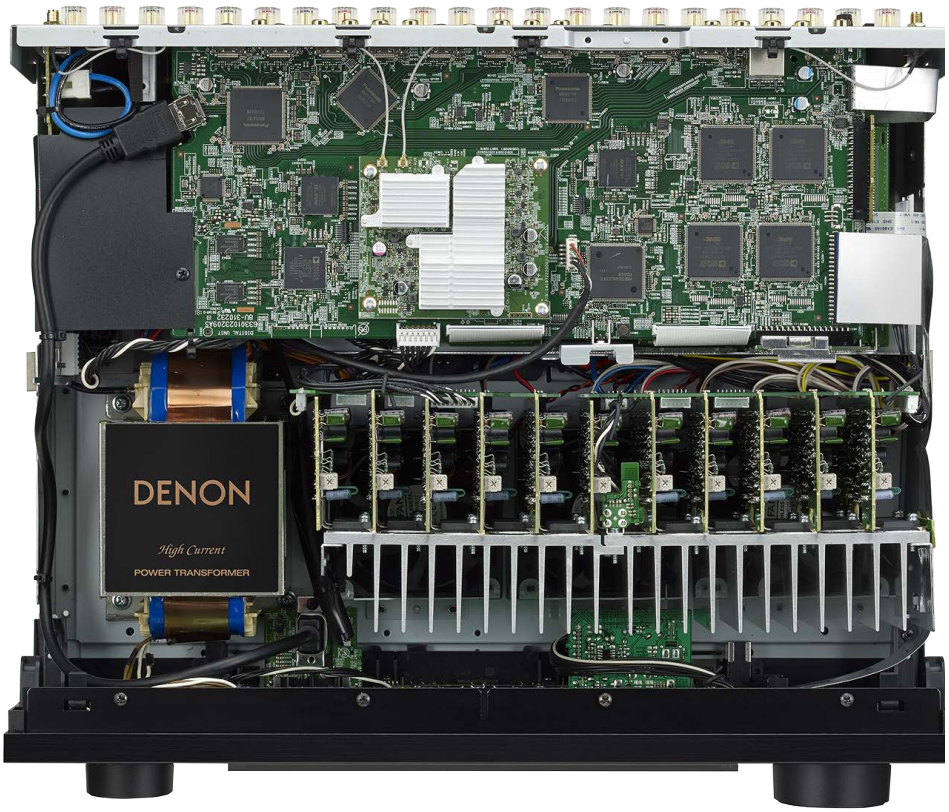
本体、およびリモコンのクイックセレクトボタンに入力ソース、音量レベル、サウンドモードの設定などを記憶することができます。次に再生するときは、登録してあるクイックセレクトボタンを押すだけで、記憶しているさまざまな設定を一度に切り替えることができます。クイックセレクトプラス機能は、ゾーンごとに記憶が可能です。

マルチルーム機能（3 ゾーン／ 3 ソース）

AVC-X6500H は 2 系統のマルチゾーンプリアウトを搭載しています。また、メインゾーンでハイトスピーカーを使用していない場合には、そのアンプをゾーン 2 ／ゾーン 3 にアサインすることができます。それぞれのゾーンで個別に入力の選択やボリュームの設定が可能です。また、All Zone Stereo 機能を使用すると、メインゾーンで再生中の音楽を同時にすべてのゾーンで楽しめます。家全体で BGM を流したいときなどに便利です。

その他の機能・特長

- 独自のジッター・フリー・オーディオ伝送技術「Denon Link HD」
- 小さな音は明瞭に、急に出る大きな音は小さく抑え深夜の視聴などに便利な「Audyssey Dynamic Volume」
- 小さな音量でも臨場感を損なわない「Audyssey Dynamic EQ」
- 周囲の部屋への低音の伝搬を抑制する「Audyssey LFC」
- 圧縮音源を原音に近い状態に復元する「 リストアラー」
- せりふやボーカルの聴こえやすさを調節する「ダイアログエンハンサー」
- 3D 映像伝送に対応
- HDMI コントロール（CEC）対応
- Phono 入力装備
- 金メッキ入出力端子
- 10 ～ 120 分の範囲で 10 分ごとに設定可能なスリープタイマー
- オートスタンバイ機能
- プリセット機能付リモコン付属



AVR-X4500H
9.2 ch AVサラウンドレシーバー

希望小売価格 170,000 円（税抜価格）
JAN コード：49-51035-06593-8

9ch ディスクリート・パワーアンプ	最大出力 235W	Auro-3D 対応	Dolby Atmos / DTS:X 対応	11.2 ch プロセッシング	デュアル・トランジスタ
HDMI 8 入力 /3 出力	4K / 60p (HDCP 2.2) 対応	Dolby Vision / HLG 対応	Wi-Fi/Bluetooth 内蔵	DSD & ハイレゾ対応	AirPlay 2 対応

Sound —— ハイエンドモデルの技術を継承

Dolby Atmos® / DTS:X™ に対応
AVR-X4500Hは、新世代のオブジェクトオーディオ技術「Dolby Atmos」、「DTS:X」に対応。頭上も含む全方位に展開する自然な音響空間に包み込まれることにより、リスナーはあたかも映画の世界に入り込んだような感覚を得ることができます。また、ハイトスピーカー信号を含まない従来のチャンネルベースのコンテンツも「Dolby Surround」や「Neural:X」で 3D サウンドにアップミックスすることができます。AVR-X4500Hは 9ch のパワーアンプを搭載しているため、[5.1.4]、[7.1.2] のサラウンドシステムを構築でき、2ch パワーアンプを追加すれば [7.1.4] までシステムを拡張することができます。

Auro-3D® に対応
AVR-X4500Hは、Auro-3Dに対応。5.1chシステムにフロントハイト、サラウンドハイト、を組み合わせた 9.1chシステムで、自然で臨場感豊かな 3Dサウンドを楽しむことができます。パワーアンプを追加すればトップサラウンドスピーカーを加えた 10.1chシステムに拡張することができます。また、Auro-Matic® アルゴリズムによって、モノラル、ステレオおよびサラウンドコンテンツを自然な3Dサウンドにアップミックスすることもできます。

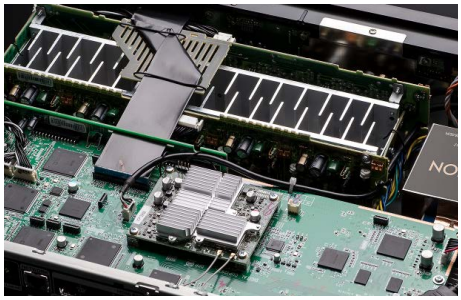
最大出力 235W※ 9ch ディスクリート・パワーアンプ
フラッグシップ AV アンプ「AVC-X8500H」そしてデノンの Hi-Fi オーディオアンプの設計思想を継承した全チャンネル同一構成のディスクリート・パワーアンプを搭載。放熱効率に優れる肉厚なアルミ押し出し材のヒートシンクに 2 枚の基板に分けた 9ch のアンプを搭載。効率的な放熱と不要振動の抑制により、透明感の高いサウンドを実現しました。DC サーボ回路には大容量コンデンサーを用い、可聴帯域よりもさらに低い、超低域からの再生を可能にしています。可聴帯域以下のハーモニクス成分が、映画の重厚な爆発音や、コンサートのパワフルなバーカッションなどの表現力を高め、臨場感をさらに向上させます。

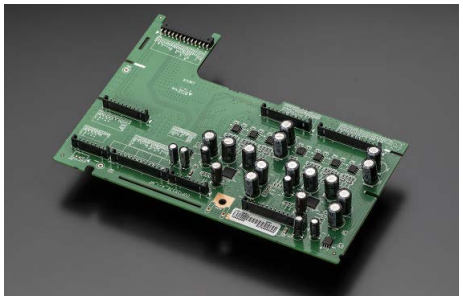
※ 6Ω、1kHz、THD 10%、1ch 駆動

11.2ch プロセッシング / 11.2ch プリアウト
優れた処理能力を備えた 32bit フローティングポイント DSP「SHARC プロセッサー」を 4 基搭載。11.2ch 分のデコードやアップミックス、AL32 Processing Multi Channel、音場補正などの高負荷な処理であっても余裕を持った演算能力でストレスなく処理することにより空間再現のリアリティ、分解能の向上を実現しています。11.2ch プリアウトも装備しており、パワーアンプの追加によって音質をさらにグレードアップすることもできます。

理想的なアナログ波形再現技術「AL32 Processing Multi Channel」
アルファ・プロセッサーは、CD の16bit 音声を 20bit 精度で再現する 2ch ピュアオーディオのためのビット拡張技術として開発されました。進化した独自のアルゴリズムによって補間ポイントの前後に存在する多数のデータからあるべき点を導き出し、限りなく原音に近い理想的な補間処理を行います。AVR-X4500H には、32 bit 精度に拡張、さらにマルチチャンネル音声にも対応した「AL32 Processing Multi Channel」を搭載しています。デジタル化された音声信号を、元のアナログ波形に近付け、ホールに吸込まれるような残響音などの微小な音の再生能力を高めます。

最新世代の32bit 対応 D/A コンバーター
サウンドマネージャーによる入念なリスニングテストにより、選択された最新世代の高音質 32bitD/A コンバーターを AVR-X4400Hから引き続き採用しています。これは AVC-X8500Hに搭載されているものと同シリーズのプレミアム DAC です。従来の D/A コンバーターに比べ大幅に歪が少なく、解像感や繊細な空間表現力に優れています。D/A 変換回路は映像回路やネットワーク回路から独立した、専用基板にマウントすることにより相互干渉を排除しています。AVR-X4500Hではポストフィルターの抵抗を温度変化による特性の変化が少ない薄膜抵抗に変更し、歪や S/N 比を改善しています。


9ch ディスクリート・パワーアンプ


D/A コンバーター専用基板

D.D.S.C.-HD32

デノンAVサラウンドアンプの設計思想であるコンテンツ制作者の意図をありのままに再現すること"を具現化するために開発された D.D.S.C.（Dynamic Discrete Surround Circuit）。AVR-X4500H は、32 ビットプロセッシングを行う最上位バージョンを搭載しています。サラウンド再生のために必要な信号処理回路を一つ一つのブロックに独立させ、32bit フローティングポイント DSP や高精度なボリューム IC など高性能な専用デバイスを用いてディスクリート化しています。また全チャンネル同一レスポンス、同一クオリティを念頭に構成。さらに、ピュアオーディオで培ったノウハウを基にパフォーマンスを最大限に引き出すよう、オーディオ回路をはじめ各回路に厳密なチューニングを施し、ロスレスオーディオやイマーシブオーディオの圧倒的高音質をダビングステージに迫るクオリティで再現します。

低音の位相補正機能

ブルーレイディスクなどマルチチャンネルで収録されているコンテンツでは、低音（LFE）が遅れて収録されている場合があります。本機能を使用すると、LFE の遅れを 0 ms ～ 16 ms の範囲で補正することができます。

大出力を支える強力な電源回路

クリーンで安定した電源供給のために、大電流の供給能力、低リーケージフラックス、低振動を突き詰めたカスタム仕様の大型 EI コアトランスを搭載。電源部のブロックコンデンサーには、AVR-X4500H 専用にチューニングされた大容量 15,000uF のカスタムコンデンサーを 2 個使用しています。容量は AVR-X4400H 同様ながらケースを大型化し、オーディオ用 AC エッチング方式の高倍率箔を採用することにより、約 10%の低 ESR 化を行いロスの少ないクリアな音質を実現しました。また、スリーブの材質を PET から固有振動の少ないポリオレフィンに変更しています。プリアンプ電源回路についてもブロックコンデンサーを 4,700 μ F から 6,800 μ F に大容量化し、整流ダイオードをエネルギーロスの少ないファストリカバリータイプに変更して音質を向上させています。

ダイレクト・メカニカル・グラウンド・コンストラクション

音質に悪影響を及ぼす内部、外部の不要振動を排除し、音質を向上させるダイレクト・メカニカル・グラウンド・コンストラクション採用。ヒートシンクや電源トランスなどの重量物はスチールプレートを介してメインシャーシに強固に固定しています。また、フットには AVC-X8500H と同じ、共振を防止するリブを設けた高密度フットを採用しています。

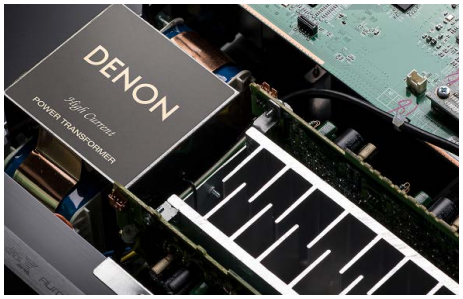
Audyssey MultEQ XT32、Sub EQ HT

設置環境によって異なる部屋の音響的な問題を補正して最適化する音場補正技術「Audyssey MultEQ XT32」を搭載しました。各スピーカーの設置後に付属のマイクを使ってスピーカーの有無やサイズ、距離、音量などの基本的な調整値を自動的に設定します。さらに、最大 8 か所の測定データを解析することによって、512 倍（Audyssey 2EQ 比）のフィルター解像度で、部屋の反響音などによる悪影響の要因を取り除き、多人数で映画を見る場合でも視聴する全員が理想的なサウンドを得られるように最適なチューニングを行います。

さらに、Sub EQ HT も搭載しており、2 台のサブウーハーを接続した際には個別に測定し、それぞれに最適な音量、距離の補正およびイコライジングを行うことができます。

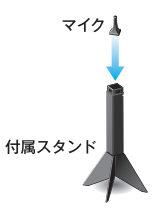
デュアル・トランジスタ

AVC-X8500H と同様に、パワーアンプ初段の差動増幅段に特性のそろった 2 つのトランジスタを含む、デュアル・トランジスタを採用しました。微小信号の表現力を高め、低域の安定感を向上させました。



カスタム EI コアトランス

高密度フット



Picture —— 4K Ultra HD / HDCP 2.2 / HDRに対応

HDMI 8入力/3出力装備。すべての端子が HDCP 2.2 に対応

8入力/3出力すべての HDMI 端子が 4K 映像コンテンツに対する著作権保護技術「HDCP 2.2」に対応しています。Ultra HD Bru-ray や衛星放送、インターネット配信などの 4K コンテンツの超高精細映像をハイクオリティなサウンドとともに楽しむことができます。また、2つのモニター HDMI 出力で TV とプロジェクターなど、2つの画面に同時に同じ映像を出力することができます。マルチゾーン HDMI 出力からは、別室に映像を配信することができます。

4K Ultra HD ビデオ・パススルー対応

すべての HDMI 入出力端子が最大毎秒 60 フレームの 4K 映像信号に対応。4K / 60p 入力に対応したテレビと接続することで、4K 映像ならではの高精細でスムーズな映像を楽しめます。また、[4K / 60p / 4:4:4 / 24bit] や [4K / 60p / 4:2:0 / 30bit]、[4K / 60p / 4:2:2 / 36bit] などの映像フォーマットに対応し、色情報の密度と階調性のなめらかさを両立した映像表現を可能にしました。さらに、従来の HD 映像の 2 倍以上の広色域表現を可能にする「BT.2020」のパススルーにも対応しています。

HDR10 / Dolby Vision / HLG 対応

AVR-X4500H は、映像のダイナミックレンジを拡張する新技術「HDR (High Dynamic Range)」映像信号のパススルーに対応しています。「UltraHD Blu-ray」に採用されている HDR10 に加え、Dolby Vision、HLG (Hybrid Log-gamma) にも対応するため、パッケージメディア、ストリーミング、放送など様々なソースで HDR 映像を楽しむことができます。

ARC / eARC に対応

Monitor 1 の HDMI 出力端子は ARC (Audio Return Channel) に対応しています。さらにファームウェア・アップデートにより HDMI 2.1 の新機能「eARC」にも対応します。eARC ではこれまでサポートされていなかったテレビから AV レシーバーへの非圧縮の 5.1ch、7.1ch 音声や Dolby Atmos、DTS:X などのオブジェクトオーディオの伝送が可能になります。

ALLM (自動低レイテンシーモード) に対応

AVR-X4500H は、HDMI 2.1 の新機能「ALLM (Auto Low Latency Mode)」に対応しています。ALLM はコンテンツの種類に応じて画質とレイテンシーのどちらを優先するかを自動で切り替える機能です。例えばゲームや VR コンテンツを再生する際には、レイテンシーが最小になるよう設定され、操作に対する画面表示の遅れを最小化します。その際 AV アンプは、画質調整や i/p スケーラー、オートリップシンクなど、レイテンシーに影響する機能を自動で停止します。

4K アップスケーリング

DVD ビデオやブルーレイディスクなどの SD / HD 解像度の映像信号 (HDMI 入力) を、最大 4K (3,840 × 2,160 ピクセル) / 60p までアップスケーリングして出力することができます。

※ コンポーネントビデオ信号は 480i/576i のみ HDMI 出力可能です。
その他の解像度のアナログ映像入力信号は HDMI 信号には変換されません。

HDMI スタンバイパススルー

本機がスタンバイ状態のときでも、HDMI 入力信号をテレビに出力することができます。また本機がスタンバイ状態のときでもリモコンの入力ソース選択ボタンで本機の入力ソースを切り替えることができます。

Network —— HEOS テクノロジー搭載 HEOS by DENON

ネットワークオーディオ機能には、ワイヤレス・オーディオシステム「HEOS」のテクノロジーを搭載。設定や操作は無料の HEOS アプリで誰でも簡単に行えます。ストリーミングサービスやインターネットラジオをはじめ、ローカルネットワーク上の DLNA 対応ミュージックサーバー (NAS / PC / Mac など) や USB メモリーに保存された音源やスマートフォン、タブレット、Bluetooth® 機器など、多彩な音源を再生することができます。さらに同一のネットワーク内の他の HEOS デバイスに AVR-X4500H で再生中の音楽を配信することもできます。

HEOS の詳細についてはウェブサイトをご覧ください。
https://www.denon.jp/jp/heos

主な機能

- 音楽ストリーミングサービス (Amazon Music、AWA、Spotify)※
- インターネットラジオ
- DSD ／ハイレゾ 対応ネットワークオーディオ機能
- DSD ／ハイレゾ 対応フロント USB 端子 (USB メモリー)
- AirPlay 2
- Bluetooth

※ 各サービスの有料プランのアカウントが必要です。

Spotify AWA music SOUNDCLOUD TUNE IN

Usability —— 多彩な機能を使いやすく

Denon 2016 AVR Remote

iPod touch / iPhone / iPad、Android スマートフォン、タブレット用リモコンアプリ「Denon 2016 AVR Remote」に対応。同一ネットワーク内のモバイルデバイスから AVR-X4500H の操作や設定を行うことができます。

2.4 / 5 GHz デュアルバンド Wi-Fi 対応

AVR-X4500H は Wi-Fi (無線 LAN) 接続に対応しているため、設置場所に有線 LAN 環境がなくても、ネットワークオーディオやインターネットラジオの再生やアプリでの操作が行えます。従来の 2.4 GHz 帯に加えて 5 GHz 帯にも対応し、より安定した通信が可能になりました。セットアップは、対応ルーターとボタン一つで接続できる「WPS」に加えて、iOS 機器からの Wi-Fi 設定コピーにも対応しているため簡単に行えます。

セットアップアシスタント

スピーカーの接続や設定、ブルーレイディスクプレーヤーなどの入力機器との接続、そしてネットワークの設定など、AV レシーバーの初期設定をテキストとグラフィックでわかりやすくガイドする「セットアップアシスタント」機能を搭載。

日本語対応GUI

入力ソースや音量レベル、サウンドモードなど AV アンプのステータスや、セットアップ画面を日本語でモニターに表示します。表示言語は英語に切り替えることもできます。

※ 4Kの映像、一部の 3D 映像、VGA などのコンピューター解像度の映像、16:9 や 4:3 以外のアスペクト比の映像の再生中にメニュー操作を行うとメニュー画面のみが表示されます。Dolby Vision 信号を再生中に本機を操作すると、表示されるメニュー画面や操作内容の色が通常と異なる場合があります。これは Dolby Vision 信号の特性により起こるもので、故障ではありません。

その他の特長

- 独自のジッター・フリー・オーディオ伝送技術「Denon Link HD」
- 小さな音は明瞭に、急に出る大きな音は小さく抑え深夜の視聴などに便利な「Audyssey Dynamic Volume」
- 小さな音量でも臨場感を損なわない「Audyssey Dynamic EQ」
- 周囲の部屋への低音の伝搬を抑制する「Audyssey LFC」
- 圧縮音源を原音に近い状態に復元する「リストアラー」
- せりふやボーカルの聴こえやすさを調節する「ダイアログエンハンサー」
- Phono 入力装備
- 「ワイド FM」対応 FM/AM ラジオチューナー
- クイックセレクトプラス機能
- マルチルーム機能 (3 ゾーン／3 ソース)
- 電力の消費を抑えるエコモード
- 10 ～ 120 分の範囲で 10 分ごとに設定可能なスリープタイマー
- オートスタンバイ機能

Specifications

Features		AVC-X8500H	AVC-X6500H	AVR-X4500H
HDMI		4K、3D、HDR10、Dolby Vision、Hybrid Log-Gamma (HLG)、BT.2020、DeepColor、"x.v.Color"、Auto Lip Sync、ALLM、ARC、eARC※、HDMI CEC コントロール、HDCP 2.2 ※ファームウェア・アップデートによる対応を予定		
対応音声フォーマット	Dolby	Dolby Atmos、Dolby TrueHD、Dolby Digital Plus、Dolby Digital EX、Dolby Digital		
	DTS	DTS:X、DTS-HD Master Audio、DTS-HD High Resolution Audio、DTS-ES、DTS 96/24、DTS Digital Surround、DTS Express		
	その他	Auro-3D、2.8MHz DSD (2ch / 5.1ch)、192kHz/24bit リニア PCM (2ch/7.1ch)、AAC		
サウンドモード		Dolby Atmos、Dolby Surround、DTS:X、DTS Neural:X、DTS Virtual:X、Auro-3D、Auro-2D Surround ダイレクト、ピュアダイレクト		
オリジナルサウンドモード		7 通り : ロックアリーナ、ジャズクラブ、モノムービー、マトリクス、バーチャル、ビデオゲーム、マルチチャンネルステレオ	7 通り : ロックアリーナ、ジャズクラブ、モノムービー、マトリクス、バーチャル、ビデオゲーム、マルチチャンネルステレオ	7 通り : ロックアリーナ、ジャズクラブ、モノムービー、マトリクス、バーチャル、ビデオゲーム、マルチチャンネルステレオ
オーディオ部	Dynamic Discrete Surround Circuit	D.D.S.C.-HD32	D.D.S.C.-HD32	D.D.S.C.-HD32
	ALPHA プロセッサー	AL32 Processing Multi Channel	AL32 Processing Multi Channel	AL32 Processing Multi Channel
	Denon Link HD	○	○	○
	クロックジッターリデューサー	○	○	○
	リストアラー	○	○	○
	D/A コンバーター	768 kHz/32 bit (2ch × 8 基)	768 kHz/32 bit (8ch × 2 基)	768 kHz/32 bit (8ch × 2 基)
	ダイレクト・メカニカル・グラウンド・コンストラクション	○	○	○
	ミニマム・シグナル・パス	○	○	○
ビデオ部	ビデオコンバージョン	アナログ → HDMI	アナログ (480i/576i のみ) → HDMI	アナログ (480i/576i のみ) → HDMI
	スケーラー	4K 50/60p までアップスケール可能	4K 50/60p までアップスケール可能	4K 50/60p までアップスケール可能
セットアップ&操作部	セットアップアシスタント	○	○	○
	オートスピーカーセットアップ / Room EQ	Audyssey MultEQ XT32、Sub EQ HT、LFC	Audyssey MultEQ XT32、Sub EQ HT、LFC	Audyssey MultEQ XT32、Sub EQ HT、LFC
	Audyssey Dynamic EQ / Dynamic Volume	○ / ○	○ / ○	○ / ○
	ディスプレイメニュー	Advanced GUI (日本語／英語)	Advanced GUI (日本語／英語)	Advanced GUI (日本語／英語)
	マルチゾーン	3 ゾーン／ 3 ソース	3 ゾーン／ 3 ソース	3 ゾーン／ 3 ソース
	クイックセレクトボタン	4	4	4
ネットワーク	HEOS テクノロジー搭載	○	○	○
	AirPlay 2	○	○	○
	インターネットラジオ	TuneIn (MP3 / WMA / AAC)	TuneIn (MP3 / WMA / AAC)	TuneIn (MP3 / WMA / AAC)
USB メモリー再生		○	○	○
無線 LAN	Wi-Fi® 準拠	2.4 / 5GHz、IEEE 802.11a / b / g /n 準拠	2.4 / 5GHz、IEEE 802.11a / b / g /n 準拠	2.4 / 5GHz、IEEE 802.11a / b / g /n 準拠
Bluetooth	バージョン	3.0 + EDR	3.0 + EDR	3.0 + EDR
	対応プロファイル	A2DP 1.2、AVRCP 1.5	A2DP 1.2、AVRCP 1.5	A2DP 1.2、AVRCP 1.5
	対応コーデック	SBC	SBC	SBC
その他	フォノイコライザー (MM)	○	○	○
	チューナー	—	—	FM 76.0 MH z ～ 95.0 MHz (ワイド FM 対応) AM 522 kHz ～ 1629 kHz
	スリープタイマー	10 分おきに120 分まで	10 分おきに120 分まで	10 分おきに120 分まで
付属品		リモコン、単 3 形 乾電池× 2、セットアップマイク、マイクスタンド、ケーブルラベル、Bluetooth/ 無線 LAN アンテナ× 2、電源コード、かんたんスタートガイド、CD-ROM 取扱説明書	リモコン、単 3 形 乾電池× 2、セットアップマイク、マイクスタンド、ケーブルラベル、Bluetooth/ 無線 LAN アンテナ× 2、電源コード、かんたんスタートガイド	リモコン、単 3 形乾電池× 2、セットアップマイク、マイクスタンド、ケーブルラベル、Bluetooth/ 無線 LAN アンテナ× 2、FM 室内アンテナ、AM ループアンテナ、電源コード、かんたんスタートガイド
保証期間		2 年	2 年	1 年

Specifications		AVC-X8500H	AVC-X6500H	AVR-X4500H
搭載アンプ数		13ch	11ch	9ch
スピーカー出力端子数		15ch	11ch	11ch
定格出力	(8 Ω、20Hz-20kHz、THD 0.05%、2ch 駆動)	150W + 150W	140W + 140W	125W + 125W
実用最大出力	(6 Ω、1kHz T.H.D. 10% 1ch 駆動、JEITA)	260 W	250W	235W
周波数特性	(+1、-3 dB、ダイレクトモード時)	10Hz ～ 100kHz	10Hz ～ 100kHz	10Hz ～ 100kHz
S/N 比	(IHF-A、ダイレクトモード時)	102dB	102 dB	102dB
入出力端子	HDMI	入力× 8 (うちフロント 1) / 出力× 3	入力× 8 (うちフロント 1) / 出力× 3	入力× 8 (うちフロント 1) / 出力× 3
	映像	コンポーネント入力× 3、コンポーネント出力× 1、コンポジット入力× 4、コンポジット出力× 2	コンポーネント入力×2、コンポーネント出力× 1、コンポジット入力× 4、コンポジット出力× 2	コンポーネント入力×2、コンポーネント出力× 1、コンポジット入力× 3、コンポジット出力× 2
	音声	アナログ入力× 7、Phono 入力× 1、7.1ch 入力× 1、光デジタル入力× 2、同軸デジタル入力× 2、ゾーンプリアウト× 2、15.2ch プリアウト× 1、ヘッドホン出力× 1	アナログ入力× 7、Phono 入力× 1、光デジタル入力× 2、同軸デジタル入力× 2、ゾーンプリアウト× 2、11.2ch プリアウト× 1、ヘッドホン出力× 1	アナログ入力× 5、Phono 入力× 1、光デジタル入力× 2、同軸デジタル入力× 2、ゾーンプリアウト× 2、11.2ch プリアウト× 1、ヘッドホン出力× 1
	その他	Denon Link HD × 1、Network × 1、フロント USB 端子× 1、リア USB 端子× 1 (5V/1.5A 給電専用) Wi-Fi/Bluetooth アンテナ× 2、セットアップマイク入力× 1、RS-232C × 1、DC トリガー出力× 2、リモートコントロール入出力×各 1	Denon Link HD × 1、Network × 1、フロント USB 端子× 1、Wi-Fi/Bluetooth アンテナ× 2、セットアップマイク入力× 1、RS-232C × 1、DC トリガー出力× 2、リモートコントロール入出力×各 1	Denon Link HD × 1、Network × 1、フロント USB 端子× 1、Wi-Fi/Bluetooth アンテナ× 2、FM/AM チューナーアンテナ×各 1、セットアップマイク入力× 1、RS-232C × 1、DC トリガー出力× 2、リモートコントロール入出力×各 1
消費電力		900W	750W	710W
待機電力	通常スタンバイ /CEC スタンバイ	0.1W / 0.5W	0.1W / 0.5W	0.1W / 0.5W
外形寸法	(フット、端子、つまみ含む)	W434 × H259 × D482mm (アンテナを立てた場合) W434 × H195 × D482mm (アンテナを寝かせた場合)	W434 × H235 × D389mm (アンテナを立てた場合) W434 × H167 × D389mm (アンテナを寝かせた場合)	W434 × H236 × D389mm (アンテナを立てた場合) W434 × H167 × D389mm (アンテナを寝かせた場合)
質量		23.3kg	14.6kg	13.7kg

写真の製品はAVR-X550BTです。AVR-X2500HおよびAVR-X1500H、AVR-X550BTにつきましては、ホームシアターコンポーネントカタログ、またはデノンウェブサイトをご覧ください。
http://www.denon.jp/

AVC-X8500H / AVC-X6500H / AVR-X4500H
ネットワーク／ USB メモリー対応フォーマット

	サンプリング周波数	ビットレート	ビット長	拡張子
WMA (Windows Media Audio)	32 / 44.1 / 48 kHz	48 ～ 192 kbps	–	.wma
MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3)	32 / 44.1 / 48 kHz	32 ～ 320 kbps	–	.mp3
WAV	32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192 kHz	–	16 / 24 ビット	.wav
MPEG-4 AAC ※	32 / 44.1 / 48 kHz	16 ～ 320 kbps	–	.aac /.m4a /.mp4
FLAC (Free Lossless Audio Codec)	32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192 kHz	–	16 / 24 ビット	.flac
ALAC (Apple Lossless Audio Codec) ※2	32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 192 kHz	–	16 / 24 ビット	.m4a
DSD (2 チャンネル)	2.8 / 5.6 MHz	–	1 ビット	.dsf / .dff

※著作権保護のないファイルのみ再生できます。インターネット上の有料音楽サイトからダウンロードしたコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンでCDなどからリッピングする際にWMAでエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

*Auro-3D® および関連するシンボルは Auro Technologies NV の登録商標です。
*Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、株式会社ディーアンドエムホールディングスは、これら商標を使用する許可を受けています。
*Wi-Fi CERTIFIED ロゴは、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
*Dolby and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.
*DTS, the Symbol, DTS in combination with the Symbol, DTS:X, and the DTS:X logo are registered trademarks or trademarks of DTS, Inc. in the United States and/or other countries.
*Audyssey MultEQ®XT、Audyssey Dynamic EQ®および Audyssey Dynamic Volume®は、Audyssey Laboratories の登録商標です。
*HDMI および HDMI の High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における商標または HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
*Windows、Windows Media は米国 Microsoft Corporation の商標、または登録商標です。
* "x.v.Color"、DSD、Direct Stream Digital および DSD ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
*iPhone、iPod、iPod touch、AirPlay、iTunes、iOS、Mac は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPad は Apple Inc. の商標です。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
*Android および Google Play は Google, Inc. の商標です。
*Amazon、Amazon Prime、Kindle、Kindle Fire は、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の登録商標です。
*"Spotify" および "Spotify" ロゴは Spotify グループの商標です。
* 仕様及び外観は改良のため、一部変更させていただくことがあります。
* 掲載商品の写真の色は、印刷の関係で多少現物と異なることがあります。

表示を正しく
家電公取協会員

デノン・ブランドについて
2010年10月1日に100周年を迎えたデノンは、日本初のレコード・蓄音器製造会社、および及び日本初の業務用録音機器製造会社を起源とし、世界初のデジタル PCM レコーダーの実用化に取り組むなど、革新的な技術力と開発力により、プレミアムオーディオブランドとして世界中から高い評価を得ています。2001年からはその呼称を「デンオン」から「デノン」と統一し、グローバルブランドとしてさらにその活躍の場を広げています。

安全に関するご注意	正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。	水、湿気、湯気、ほこり、油煙、等の多い場所に設置しないでください。火災、故障、感電などの原因となることがあります。

※改善のため仕様及び外観は、一部変更させていただくことがあります。
※当カタログの写真の色は印刷の関係で現物と多少異なる場合があります。

●掲載商品の内容についての、お問い合わせ・ご相談は当社のお客様相談センター
0570-666-112 へおたずねください。
受付時間 9：30～17：30（土・日・祝日・弊社休日除く）
電話によるお問い合わせの際は、おかけ間違えのないようご注意ください。
IP 電話をご利用の場合、つながらないことがあります。
その際は 050-3388-6801 におかけください。

●デノンウェブサイト denon.jp

●他の商品のカタログ請求は、希望商品を明記の上、
〒210-8569 神奈川県川崎市川崎区日進町2-1 D&Mビル 国内営業本部 へ

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

※掲載の内容は 2018年9月現在です。
2018.9.5 発行